



資料提供

平成29年2月14日
減災対策推進担当
担当者 藤谷, 古川
内線 (2781)
直通 082-513-2781

広島県「みんなで減災」備えるフェアを実施します！

協賛店舗数が初めて2,000店舗を突破

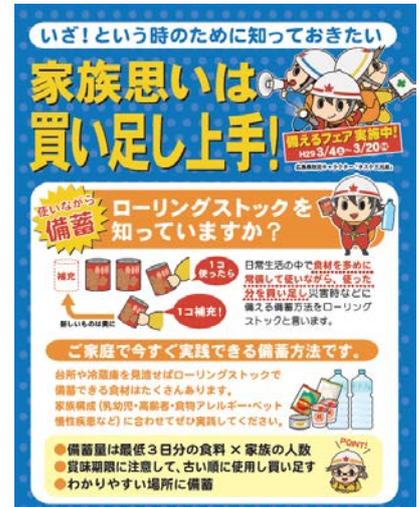
広島県「みんなで減災」県民総ぐるみ運動の一環として、県民の皆様には災害時の非常持出品や備蓄品を備えていただくため、広島県「みんなで減災」備えるフェアを開催します。

このフェアは、平成23年3月に発生した東日本大震災を教訓に、平成24年度から年2回、「防災の日」の9月と東日本大震災が発生した3月に県内の小売店等の協力を得て実施しているものです。県内企業・店舗に広く呼び掛けた結果、今回、協賛店舗数が初めて2000店を突破する見込みとなりました。

これまでの災害発生時の非常持ち出しグッズの準備とあわせて、日常生活の中で、飲料水や食料などを多めに常備して使いながら、買った分を買い足し災害時に備えるための備蓄方法である「ローリングストック」法の導入を提案し「自助」の取組み強化に繋げていきます。

昨年実施した、「防災・減災に関する県民意識調査」によると、非常持ち出し品を用意している人の割合は、前年調査を14.4ポイントも上回る65.9%となったところです。

県では引き続き、防災意識の醸成に務めていきたいと考えています。



備えるフェアの概要

協賛企業・団体の協力を得て、多くの県民が日常的に訪れる小売店舗(コンビニエンスストア、ショッピングセンター、ホームセンター等)において、ローリングストック法[※]の推奨なども含め、次のとおり実施します。

【狙い】◆防災グッズにはどのようなものがあるかを周知

◆ローリングストックの推奨による負担感の軽減

■期 間	平成29年3月4日(土)から平成29年3月20日(月・祝)
■場 所	協賛企業や協力団体の小売店舗等(33企業・団体, 2,157 店舗) ※店舗数は2月9日時点 【主な実施店舗】 ・コンビニエンスストア 957 店舗 ・食料品スーパー 203 店舗 ・ホームセンター 104 店舗 ・ドラッグストア 82 店舗 ・ガソリンスタンド 619 店舗
■主な内容	・ポスター掲示及びチラシの配布等による非常持出品の準備など災害への備えの啓発 ・特設コーナーの設置や商品ポップ等による防災グッズとなる品物の周知

※「ローリングストック法」とは、日常生活の中で、飲料水や食料などを多めに常備して使いながら、使った分を買い足し、いざという時のために備える備蓄方法

期間中の主な防災啓発イベント(2月9日現在)

◆フレスタ横川店 (3月4日(土))

・家族で学ぶ防災教室

講師:「みんなで減災」推進大使 大隅 智子氏(広島テレビ放送株式会社)

・備蓄品を活用した料理教室

講師:比治山大学短期大学部 総合生活デザイン学科教授 山崎 初枝氏

・過去の災害記録写真やハザードマップの展示 等

◆無印良品広島パルコ (3月12日(日))

・いつものもしも 防災教室

講師:「みんなで減災」推進大使 岸 真弓氏(中国放送株式会社)

主な広報ツール

トップボード



スイングポップ



レールポップ



レシートロール (石油商業組合作成)



参考:協力店舗数の推移

	H24.9	~	H27.3	H27.9	H28.3	H28.9	H29.3
企業・団体数	17		31	25	27	32	33
店舗数	609		902	1,316	1,376	1,604	2,157

参考:防災・減災に関する県民意識調査結果(抜粋)

成果指標項目	調査結果			H32(目標)
	H26	H27(10月)	H28(8月)	
非常持出品を用意している人の割合	52.8%	<u>51.5%</u>	65.9%	60.0%
災害の種類に応じた避難場所・避難経路の確認した人の割合	13.2%	<u>27.0%</u>	54.0%	60.0%
県、市町の防災情報メールを登録している人の割合	8.4%	<u>10.4%</u>	11.3%	40.0%
防災教室・防災訓練へ参加した人の割合	35.1%	<u>30.7%</u>	32.9%	60.0%